



畠山重忠公像



源義仲騎馬像
(富山県小矢部市)

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会企画 比企の歴史まるわかり！9市町村広報リレー **嵐山町版**

来年1月、NHKで放送開始予定の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」。ドラマには中川大志さん演じるはたけやましげただ畠山重忠、青木崇高さん演じるきそみなもとのよしなか木曾(源)義仲が登場します。2人とゆかりのある史跡をご紹介します。

畠山重忠の館跡 菅谷館跡

～重忠の最期～

幕府権力を握ろうと急ぐ北条氏。重忠はその謀略に倒れます。1205(元久2)年、北条時政ほうじょうときまさに呼び出された重忠は、この菅谷館跡から鎌倉へ出立しゅつたつ。その途中、二俣川(横浜市旭区)で北条氏らの大軍の待ち伏せにあい、42歳で非業の死を遂げました。

～畠山重忠公像～

菅谷館跡内の畠山重忠公像。この像は平服であるえぼし烏帽子姿で鎌倉を向いています。これは重忠の幕府への想いを示しています。



嵐山町マスコットキャラクター
おさし嵐丸



菅谷館跡
詳細はこちら

木曾義仲ゆかりの神社 鎌形八幡神社

～嵐山町で生まれた義仲～

1155(久寿2)年、嵐山町大蔵の地で起きた大蔵合戦。この勢力争いにより父「義賢」よしかたが討たれましたが、3歳の義仲は重忠の父「重能」しげよしらのはからいで、木曾(長野県)へ逃れました。一命をとりとめた義仲は、その後の時代に大きな影響を与えることとなります。

～伝木曾義仲産湯の清水～

嵐山町鎌形で産まれたとされる義仲。その義仲誕生の際に産湯を沸かしたとされる清水があります。



鎌形八幡神社
詳細はこちら

問合せ 嵐山町役場地域支援課 ☎0493-62-2152

12月は鎌倉時代に『万葉集』を全て読み解いた「仙覚律師」ゆかりの地、小川町です。